

氏名	隅 田 伸 二		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 甲 第 1178 号		
学位授与の日付	平成 5 年 3 月 31 日		
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)		
学位論文題目	咽頭の形態に関する発生学		
論文審査委員	教授 村上 宅郎	教授 佐々木順造	教授 松尾 信彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

頭尾長4.5mm～250mmのヒト正常胚仔，胎児30体及び中枢神経系奇形胎児7体を用い，咽頭領域を中心に組織学的，肉眼的に観察した。

発生第4週～第10週にかけて鰓弓構造より咽頭各器官の原基が形成され，二次口蓋が完成する第10週には咽頭全体の基本的形態がおおよそできあがる。この時期までに咽頭天蓋上皮と脊索とは一時期癒合し結節をつくり，この結節により咽頭天蓋と頭蓋底とが結び付けられていた。より後期の咽頭の形態形成には上顎，下顎の発育も重要な因子であると考えられた。

中枢神経系奇形胎児の観察より，これらの胎児では頭蓋底と脊柱がつくる角度が正常と異なっており，この角度により規定されるスペースに応じて咽頭の変形がみられた。また咽頭天蓋が頭蓋底に向かい牽引されたかのように変形している例もみられ，上記の咽頭天蓋上皮－脊索結節との関連が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はヒト正常胚仔，胎児，奇形胎児の咽頭領域を組織学的ならびに肉眼解剖学的に観察したものであるが，従来必ずしも明らかでなかった咽頭天蓋と背索との関係について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。